

復活節第2週 聖餐礼拝

2018年4月8日

第一礼拝(午前8:00～) 聖餐礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	(新聖歌41)		
聖餐の招詞	司会者	
※賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここに」	—	同
聖書交読	交読文53「ルカの福音書第22章」	—	同
祈禱	司会者	
分餐	(新聖歌53)	—	同
感謝の賛美	新聖歌127「 ^{はか} 墓の中に」	—	同
聖書朗読	『コリント人への手紙 第一』1章1-3節(新約317頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「教会とは何か」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌160「主の真理は荒磯の岩」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	佐藤 鈴子姉	
諸報告	司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌63「父 ^{みこ} 御子 ^{みたま} 御霊の」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立ください)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	聖餐準備：担当役員 配餐：担当役員
司集	会：近伸之牧師 会：小山 千春姉 笹川 清子姉	映像・音響：山崎 敬典兄 配餐：片山 健司兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：佐藤 繁実兄 掃除：猪爪 和美姉

説教メモ

- 1.「会堂建築は・・・一人ひとりが「教会とは何か」を改めて考える機会を主が与えてくださった」(田淵 諭)
- 2.教会が今まさに主の御名を呼び求めている者の集まりだとすれば、教会の本質は「礼拝」に他ならない
- 3.神はみこころによって罪人たちを「聖なるものとされた」。この恵みをさらに伝える拠点としての会堂建築

先週の暗唱聖句

「ここにはおられません。前から言っておられたとおり、よみがえられたのです」
(『マタイの福音書』28章6節)

今週の暗唱聖句

「このイエスを、神はよみがえらせました。私たちはみな、そのことの証人です」
(『使徒の働き』2章32節)

(牧師のサイン：)

個人、団体からの来信

2018年4月8日

BEGinより会計報告/NBIより前期聴講生募集、ほか/ライブだより4月号/「ブラジリアの風」No.18/「PBAオンエア」、「PBAすまいる」/「アンテオケ宣教会ニュース」221号/TCUより領収書/「敬和カレッジレポート」第90号/敬和学園「全校労作」の連絡[5月18日(金)受け入れ予定]

先週の集会出席者数

4/1(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性-		
		幼児女子1 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性2		
	第一礼拝	男2 女2	4/2(月)阿賀野のオアシスに当教会より4名の婦人が参加	
	イースター特別礼拝	男12 女18 計30	4/2(月) 月曜家庭集会	男1 女3
	(子ども)	男児2 女児5	4/4(水) 救 禱 会	男6 女6
	夕 拝	男1 女1	4/6(金) しゃべり場夕バタ	男 女
	※月に一回実用書道教室を開催	4/6(金)	金曜祈 禱 会	男 女

諸集会のご案内

	※月に一回、実用書道教室		
4/9(月)	月曜家庭集会	(休会)	
4/11(水)午後7:30	ネヘミヤ祈禱会	教会堂	司会：小山 千春姉
4/13(金)午後1:30	しゃべり場夕バタ	渡邊智子姉宅	問合せ先：小山 千春姉
4/13(金)午後8:00	金曜祈 禱 会	教会堂	

4/15(日)復活節第3週

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：片山 初子姉		
第二礼拝 午前10:30	司会：片山 勝三兄 集会：笹川 清子姉 長谷川睦子姉	映像・音響：山崎 敬典兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：森田 澄子姉 掃除：片山 初子姉
礼拝の予定	礼拝時に役員就任式、CS教師任命式、進級式を持ちます。 式に臨む方は、会堂前方にご着席ください。		
午後の予定	カナン訪問	午後2:00～3:00	担当：片山 初子姉
夕拝 午後7:30	司会：近伸之牧師 説教		

報 告

1. 本日の予定
本日は4月の聖餐礼拝を行いました。感謝します。礼拝後は会堂のためのグループ祈禱を持ち昼食をいただき、午後1:30より会堂建築についての学び会を行います。
2. 新津でのスケッチ散策について
4月21日(土)に宣教区壮年会主催でスケッチ散策が予定されています。申込締切は本日まで。
3. 先週の来会者
4月1日(日)イースター特別礼拝に、天尾颯一郎くん(敬和高3年)と、天尾聖子さん(保護者)、戸井愛子さんが出席されました。
- 4.

「クリスチャンは、一杯やらないのによく歌う。」
こう言って感心した人があるそうだが、賛美せざるを得ない喜びを与えてくださった神を賛美する歌、これがクリスチャンの讃美歌である。

礼拝においても、私たちは讃美歌をもって神を賛美し、神を礼拝するわけである。礼拝のはじめの賛美から、私たちは心を込め、感謝に満たされ、神の前に讃美歌を歌うのである。

ところが、礼拝に限らず、集会の司会に立った人が、集会のはじめに次のように言うのを聞くことがある。「そろそろ時間になりましたので、賛美でもして、みなさんがいらっしゃるのをお待ちいたしましょう。」悪気あって言っているのではないことはわかるのだが、これはあまり感心できない言い方である。

第一に、「そろそろ」がいけない。集会には開始の定刻があり、定刻に始められるべきである。「そろそろ」では、結局その集会がいつから、そしてどの部分から本当に始まるのかわからない。定刻といっても、もちろんストップウォッチで何分何秒まで測れということではなく、要は集会の姿勢の問題である。

第二に、「賛美でもして」がいけない。これでは、賛美というものが、集会の添え物であり、人を待つためのものであり、時間つぶしのものになっ

てしまうのではないか。賛美は添え物ではなく、礼拝の大切な部分である。賛美は人を待つためのものではなく、神に向けてささげられるものである。賛美は時間つぶしのもではなく、その時間に私のすることはこれしかないというほどの真剣さをもって、歌われるべきものなのである。

第三に、「お待ちいたしましょう。」がいけない。これでは、遅刻を奨励しないまでも、集会が遅れて来る人のためにあるような錯覚を起こしかねない。定刻に集まっている人は、一体どうなるのだろう。この言い方では早く来た人も、そして賛美というものも、少し極端な表現を使えば、遅れてくる人のダシにすぎないことになる。

司会者は次のように言うべきである。「時間になりました(定刻になりました)。賛美をもって(お祈りをして)、集会を始めましょう。」遅れて来る人たちが気になるならば、「遅れている方々が少しでも早く集められるように祈りましょう。」とでも加えればよい。

司会者をダシにして申し訳なかったが、じつはこうした問題は司会者だけの問題なのではなく、私たち一人ひとりの問題なのである。司会者に「賛美でも」と言わせてしまうほどに、私たちの賛美はまだまだ貧しいと言わねばならない。

さまざまのこと思ひ出す桜かな

芭蕉



2018年度教会目標 **「弟子の覚悟をもって」**

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

(『ルカの福音書』14章27節)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



4/14(土)「西郷隆盛と聖書」守部喜雅さん

メッセージ 安海靖郎

『聖書を読んだサムライたち』『サムライウーマン新島八重』など多数の著作を持つジャーナリストの守部喜雅さんが、今年、『西郷隆盛と聖書』という本を出版しました。この本は、薩摩藩士で明治維新の代表的な政治家であった西郷隆盛が聖書を読んでいたと言われる出来事に迫るものです。番組では、西郷隆盛について、また、彼が聖書から影響を受けたことについて守部さんにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin。ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、ライフライン
の協力教会です。

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
とよ さか ちか のぶ ゆき
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

